

ID No.	222
研究課題名	NF-κB シグナルにおける特異的ユビキチン化基質の同定と癌化との関連
研究代表者	徳永 文稔 (群馬大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	井上 純一郎 (東京大学医科学研究所・教授) 尾山 大明 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告書	
NF-κBシグナルは自然・獲得免疫制御や炎症応答に重要な役割を果たすシグナル伝達経路であり、申請者らは直鎖状ユビキチン化という新たな翻訳後修飾がNF-κBシグナル制御に関与することを見いだしている。今回、本共同研究解析によって直鎖状ユビキチン化に関連するタンパク質群の高感度質量分析を行い、幾つかの有力タンパク質が見出された。今後、再現性確認実験や炎症性サイトカイン及び病原体認識パターンなど各種刺激下での解析を行うとともに細胞メカニズムの解明、個体レベルでの解析および病態への関連を研究する予定である。	